

廃棄していた余剰商品の寄贈と

非可食部からの新商品開発で見た新しい可能性



株式会社みまつ食品

前橋市



代表者： 神山光永
設立年月日： 1974年3月1日
資本金： 4,000万円
従業員数： 350人

住所： 前橋市上大島町2-1
TEL： 027-261-2534
URL： <https://www.mimatsu-grp.co.jp>



WEB サイト

● 事業者紹介

1970年に、群馬県前橋市で創業。中華点心類を全国の量販店、外食企業、宅配企業を中心に製造販売。前橋市の本社工場では、1日100万粒以上の餃子・焼売を生産し、全国に商品を供給しています。また前橋市にアンテナショップの「餃子工房 RON」があり、直接、消費者の方々に商品の販売も実施しています。



● 経緯・背景

お客様から受注した商品を納品するために、受注した数量より少しだけ多く製造しなければならず、納品後にも余剰品が出ていました。当初は従業員向けに販売していましたが、量が多い時は廃棄処分にせざるを得ませんでした。そんな状況を解決するために、フードバンク寄贈事業をスタートしました。また、工場では1日約6tのキャベツを使用しています。キャベツの大半は食用として使用されますが、外葉や芯などは食用に適さないため廃棄していました。この非可食部が1日に約100kg以上も廃棄されており、何らかの付加価値を付けられないかと始まったのがキャベツプロジェクトです。

● 具体的な取組や成果

「フードバンク寄贈事業」と「キャベツプロジェクト」異なる2つの事業を通し「食」にしかできないサステナブルな活動に挑戦します

● フードバンク寄贈事業

群馬県社会福祉協議会に相談し、県内の社会福祉協議会やフードバンク、子ども食堂の紹介を受け、寄贈事業を開始しました。寄贈先の施設は年々増えていき、現在では県内50カ所以上に寄贈しています。寄贈先では子供たちに餃子や焼売を楽しんでもらっています。前期における累積寄贈量は約11tにもおよび、処理費用換算で約86万円分の費用削減にも成功しました。近隣の食品製造企業や当社の協力工場からも寄贈を受け、現在では幅広い商品カテゴリーで寄贈を行っています。



フードバンクまえばしへ商品を寄贈

● キャベツプロジェクト

廃棄予定のキャベツからキャベツエキスを抽出し、商品化を実施。キャベツエキスをを使用した「キャベツサイダー」と「キャベツこんにやくゼリー」、キャベツの芯をそのまま入れたソーセージ風の「シャキッとギョーザ燻」を開発しました。県内のおみやげ屋さんなどで販売中です。また茨川市の日本カーリット株より技術支援いただき、キャベツの芯からGABAを抽出する技術を開発。今後は健康食品等に応用し、お客様の健康を維持する事業を展開していきます。



カーリットHDのバイオリファイナリー技術の提供に際し行った共同記者会見

当社にとってのSDGsビジョン

商品に関わるすべての人を食にしかできない形で幸せに

SDGsという言葉が成立する以前より、コーポレートアイデンティティである「暮らしを食で包む」という考えのもと、地域に根差した活動をしてきました。今後も食でしかできない形で、関わるすべての人を幸せにしていきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

2つの事業の規模拡大のため新たな試みにチャレンジ

フードバンク寄贈事業のさらなる拡充を目指して、アンテナショップ「餃子工房 RON」の店内に受付カウンターを設置し、個人での寄贈も受け付けています。またキャベツパウダーを活用したキャベツプロジェクトの、さらなる商品の拡充を目指し、健康食品分野での商品展開にも挑戦します。